

理科

(地学基礎)

発 番 号	行 名	者 称 略 称	教科書の記号・番号	判型	ページ数	検定済年
2	東京書籍	東書	地基 002-901	B 5	210	令和 7 年
7	実教出版	実教	地基 007-901 ◆	B 5	216	令和 7 年
61	新興出版社啓林館	啓林館	地基 061-901 ◆	B 5 変型	262	令和 7 年
61	新興出版社啓林館	啓林館	地基 703 ◆	B 5 変型	238	令和 3 年
104	数研出版	数研	地基 104-901 ◆	B 5 変型	274	令和 7 年
183	第一学習社	第一	地基 183-901 ◆	B 5	222	令和 7 年
183	第一学習社	第一	地基 705	B 5	222	令和 3 年

※「教科書の記号・番号」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示す。

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者及び教科書の番号

地学基礎		冊数	7冊
発行者の略称・教科書の番号	東書002-901 実教007-901 啓林館061-901 啓林館703 数研104-901 第一183-901 第一705		

2 学習指導要領における教科・科目の目標等

【理科の目標】

自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。
- (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- (3) 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

【地学基礎の目標】

地球や地球を取り巻く環境に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、地球や地球を取り巻く環境を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- (3) 地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

【地学基礎の内容及び内容の取扱い】

「内容」の概要	「内容の取扱い」抜粋
(1) 地球のすがた ア 次のことを理解するとともに、観察、実験などに関する技能を身に付けること。 (ア) 惑星としての地球 (イ) 活動する地球 (ウ) 大気と海洋 イ 観察、実験などを通して探究し、規則性や関係性を見いだして表現すること。	(1) 内容の取り扱いに当たっては、次の事項に配慮するものとする。 ア 内容の(1)及び(2)については、中学校理科との関連を考慮し、それぞれのアに示す知識及び技能とイに示す思考力、判断力、表現力等とを相互に関連させながら、この科目の学習を通して、科学的に探究させるために必要な資質・能力の育成を目指すこと。
(2) 変動する地球 ア 次のことを理解するとともに、観察、実験などに関する技能を身に付けること。 (ア) 地球の変遷 (イ) 地球の環境 イ 観察、実験などを通して探究し、規則性や関係性を見いだして表現すること。	イ この科目で育成を目指す資質・能力を育むため、観察、実験などを行い、探究の過程を踏まえた学習活動を行うようにすること。その際、学習内容の特質に応じて、情報の収集、仮説の設定、実験の計画、野外観察、調査、データの分析・解釈、推論などの探究の方法を習得させるようにするとともに、報告書などを作成させたり、発表を行う機会を設けたりすること。

3 教科書の調査研究

(1) 内容

ア 調査研究の総括表

調 査 項 目		対象の根拠（目標等との関連）
a	単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	学習指導要領第2章第5節第3款1(1)
b	探究の過程を踏まえた学習の場面	学習指導要領第2章第5節第3款2(1)
	その他の項目（各教科共通）	学習指導要領総則、東京都教育委員会の基本方針、東京都教育ビジョン

イ 調査項目の具体的な内容

① 調査項目の具体的な内容の対象とした事項

調査研究事項の a、b 及びその他の項目との関連で、次の事項について具体的に調査研究する。

- a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成(各教科共通)
 - ・ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫について見取る。
- b 探究の過程を踏まえた学習の場面（見通しをもって観察、実験を行うことなど）
 - ・ 問題を見だし観察、実験などを計画する学習活動を扱っている内容について見取る。
 - ・ 観察、実験などの結果を分析し解釈する学習活動を扱っている内容について見取る。
 - ・ 科学的な概念を使用して考えたり説明したりする学習活動を扱っている内容について見取る。

《その他の項目》（各教科共通）

- ・ 我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫
- ・ 人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫
- ・ 安全・防災や自然災害の扱い
- ・ オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫
- ・ 固定的な性別役割分担意識に関する記述等

② 調査対象事項を設定した理由等

- a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成(各教科共通)
 - ・ 学習指導要領の「各科目にわたる指導計画の作成と内容の取扱い」中に、「単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成に向けて、生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を図るようにすること。」と言及されているので、地学基礎では、各単元における資質・能力をどのように育成できるかという視点で質的な調査をする。
- b 探究の過程を踏まえた学習の場面（見通しをもって観察、実験を行うことなど）
 - ・ 学習指導要領では、探究の過程を通して、地学的な事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する必要があるとされているため、探究の過程を踏まえた項目・題材について調査する。

《その他の項目》（各教科共通）

- ・ 我が国の領域をめぐる問題及び国旗・国歌の取り扱いについては、学習指導要領総則に基づき、これらの問題を正しく理解できるようにするため、その扱いについて調査する。
- ・ 北朝鮮による拉致問題については、東京都教育委員会の基本方針1に基づき、人権尊重の理念を正しく理解できるようにするため、その扱いについて調査する。
- ・ 東京都では、自然災害時における被害を最小化し、首都機能の迅速な復旧を図る総合的なリスクマネジメント方策の確立が喫緊の課題であり、防災教育の普及等により地域の防災力の向上が重要であることから、防災や自然災害の扱いについて調査する。
- ・ 東京都教育委員会の基本方針2・3に基づき、文化・スポーツに親しみ、国際社会に貢献できる日本人を育成するという観点から、オリンピック・パラリンピックの扱いについて調査する。
- ・ 伝統的な男女の役割については、固定的な性別役割分担意識の解消や、「無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)」に気付いて言動等を見直していくなど、男女の平等を重んずる態度を養うことができるよう、その扱いについて調査する。

(2) 構成上の工夫(各教科共通)

- ・ デジタルコンテンツの扱い
- ・ ユニバーサルデザインの視点

教科名	理科
科目名	地学基礎

発行者（略称）	東書
教科書番号	地基002-901
教科書名	改訂 地学基礎
(1) 内容	
a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【惑星としての地球】	・時計の遅れから知る重力の減少について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。
【活動する地球】	・地球とほかの惑星の高度分布の違いについて、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・古文書から調べる昔の地震について、自然の事物・現象に関わる場面を設定している。 ・地震波の周期と建物の揺れについて、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・電波を使った測定技術について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・石材と気候について、自然の事物・現象に関わる場面を設定している。
【大気と海洋】	・雲の種類について、自然の事物・現象に関わる場面を設定している。 ・フェーン現象について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・長期的な気温変動と人間による気候への影響について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。
【地球の変遷】	・太陽系の外縁部について、自然の事物・現象に関わる場面を設定している。 ・アストロバイオロジーについて、自然の事物・現象に関わる場面を設定している。 ・太陽系天体探査について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・チバニアンについて、自然の事物・現象に関わる場面を設定している。 ・酸素同位体比から推定された気候変動について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・恐竜の姿と生活について、自然の事物・現象に関わる場面を設定している。
【地球の環境】	・土砂災害について、自然の事物・現象に関わる場面を設定している。
b 探究の過程を踏まえた学習の場面	
【惑星としての地球】	・地球の大きさと形について、その結果を分析し解釈することを促すページが設けられている。 ・岩石と鉄の密度の比較について、その結果を分析し解釈することを促すページが設けられている。
【活動する地球】	・対流の観察について、その方法を説明するページが設けられている。 ・プレート動きについて、その方法を説明するページが設けられている。 ・震源の深さを求める実習について、その方法を説明するページが設けられている。 ・液状化現象について、その方法を説明するページが設けられている。 ・ハワイ諸島の火山とプレート運動について、その結果を分析し解釈することを促すページが設けられている。 ・ペットボトルを用いた地層作製について、その方法を説明するページが設けられている。 ・露頭の観察について、その結果を分析し解釈することを促すページが設けられている。 ・身のまわりで見られる石材について、その結果を分析し解釈することを促すページが設けられている。
【大気と海洋】	・大気の高さによる気圧と温度の変化について、その結果を分析し解釈することを促すページが設けられている。 ・角度による光の当たり具合の違いについて、その方法を説明するページが設けられている。 ・緯度ごとの太陽放射の量と地球放射の量を比較する。 ・海水から食塩を取り出す実験について、その方法を説明するページが設けられている。 ・熱の不均衡について、その方法を説明するページが設けられている。 ・太陽光のエネルギー測定について、その結果を分析し解釈することを促すページが設けられている。
【地球の変遷】	・岩石薄片について、その方法を説明するページが設けられている。 ・惑星の諸量の関係について、その結果を分析し解釈することを促すページが設けられている。 ・太陽表面の観測について、その結果を分析し解釈することを促すページが設けられている。 ・堆積岩の性質について、その方法を説明するページが設けられている。
【地球の環境】	・気候変動から地球温暖化について、その結果を分析し解釈することを促すページが設けられている。

《その他の項目》（各教科共通）	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	・過去の地震の様子を古文書から調査することを取り上げるなど、国土や歴史に対する理解について学習する場面が設定されている。
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	・震度階級を取り上げるなど、安全・防災や自然災害について学習する場面が設定されている。 ・地震による災害と防災を取り上げるなど、安全・防災や自然災害について学習する場面が設定されている。 ・地震波の周期と建物の揺れを取り上げるなど、安全・防災や自然災害について学習する場面が設定されている。 ・火山による災害と防災を取り上げるなど、安全・防災や自然災害について学習する場面が設定されている。 ・気象災害を取り上げるなど、安全・防災や自然災害について学習する場面が設定されている。 ・ハザードマップを用いた災害発生時の行動を取り上げるなど、安全・防災や自然災害について学習する場面が設定されている。
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	記載なし
(2) 構成上の工夫	
デジタルコンテンツの扱い	・音声・動画などのデジタルコンテンツを活用して効果的に学習できるようURL及び2次元コードを掲載している。
ユニバーサルデザインの視点	・すべての生徒の色覚特性に適応するようにデザインされており、また見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントが採用されている。

教科名	理科
科目名	地学基礎

発行者（略称）	実教
教科書番号	地基007-901◆
教科書名	地学基礎 新訂版
(1) 内容	
a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【惑星としての地球】	・メートルの定義について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・地球の密度について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・日本初の天然ダイヤモンドについて、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・地球内部の探査について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・自形と他形について、自然の事物・現象に関わる場面を設定している。 ・鉱物のかたさについて、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。
【活動する地球】	・大陸移動説について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・緊急地震速報について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・長周期地震動について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・噴火による被害について、自然の事物・現象に関わる場面を設定している。
【大気と海洋】	・波とスペクトルについて、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・太陽放射について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・降水量と蒸発量の緯度分布について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・温帯低気圧について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・アルゴフロートについて、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。
【地球の変遷】	・ソフトウェア「Mitaka」について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・天体間の距離について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・太陽系の天体について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・月の起源について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・石と土の違いについて、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・化石について、自然の事物・現象に関わる場面を設定している。
【地球の環境】	・海底における物質循環と次世代の資源について、自然の事物・現象に関わる場面を設定している。 ・原子力と放射性廃棄物について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。
b 探究の過程を踏まえた学習の場面	
【惑星としての地球】	・Web地図を用いて地球上の距離を測定する実習について、その方法を説明するページが設けられている。 ・地球の凹凸を作図する実習について、その方法を説明するページが設けられている。 ・岩石の密度を測定する実験について、その方法を説明するページが設けられている。 ・プレート境界の地形の特徴を調査する実習について、その結果を分析し解釈することを促すページが設けられている。 ・ホットスポットの位置からプレートの運動を調査する実習について、その結果を分析し解釈することを促すページが設けられている。 ・褶曲や断層の形成過程を確認する実験について、その方法を説明するページが設けられている。
【活動する地球】	・S-P時間を用いた震央調査について、その方法を説明するページが設けられている。 ・火山噴火の仕組みについて、その結果を分析し解釈することを促すページが設けられている。 ・砂や火山灰の観察について、その方法を説明するページが設けられている。
【大気と海洋】	・大気圧の働きを確認する実験について、その方法を説明するページが設けられている。 ・温度の測定について、その結果を分析し解釈することを促すページが設けられている。 ・大気の動きを確認する実験について、その方法を説明するページが設けられている。 ・雲をつくる実験について、その方法を説明するページが設けられている。 ・緯度による日射量変化の測定について、その方法を説明するページが設けられている。
【地球の変遷】	・太陽系の天体の大きさの比較方法について、その方法を説明するページが設けられている。 ・宇宙膨張のモデル事業について、その方法を説明するページが設けられている。 ・生命が存在するのに必要な条件について、その結果を分析し解釈することを促すページが設けられている。 ・宇宙等を構成する元素比較について、その結果を分析し解釈することを促すページが設けられている。 ・地質現象の前後関係を確認する露頭の観察について、その結果を分析し解釈することを促すページが設けられている。 ・化石の観察について、その方法を説明するページが設けられている。
【地球の環境】	・碎屑粒子の観察について、その方法を説明するページが設けられている。 ・堆積岩の観察について、その結果を分析し解釈することを促すページが設けられている。 ・氷期の日本列島付近の地形調査について、その方法を説明するページが設けられている。 ・液状化現象について、その方法を説明するページが設けられている。 ・ハザードマップの比較調査について、その方法を説明するページが設けられている。

《その他の項目》(各教科共通)	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	・ 方丈記を取り上げるなど、我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解について学習する場面が設定されている。 ・ 源氏物語を取り上げるなど、我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解について学習する場面が設定されている。 ・ 明月記を取り上げるなど、我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解について学習する場面が設定されている。 ・ 日本書紀を取り上げるなど、我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解について学習する場面が設定されている。 ・ 奈良時代に化石が「竜骨」という漢方薬として珍重されたという話題を取り上げるなど、我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解について学習する場面が設定されている。 ・ 日本書紀を取り上げるなど、我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解について学習する場面が設定されている。
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	・ 過去の震災の写真を取り上げるなど、安全・防災や自然災害について学習する場面が設定されている。 ・ 緊急地震速報を取り上げるなど、安全・防災や自然災害について学習する場面が設定されている。 ・ 地震災害を取り上げるなど、安全・防災や自然災害について学習する場面が設定されている。 ・ 火山災害を取り上げるなど、安全・防災や自然災害について学習する場面が設定されている。 ・ 気象災害を取り上げるなど、安全・防災や自然災害について学習する場面が設定されている。 ・ ハザードマップを取り上げるなど、安全・防災や自然災害について学習する場面が設定されている。 ・ 原子力と放射性廃棄物を取り上げるなど、安全・防災や自然災害について学習する場面が設定されている。
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	記載なし
(2) 構成上の工夫	
デジタルコンテンツの扱い	・ 音声・動画などのデジタルコンテンツを活用して効果的に学習できるようURL及び2次元コードを掲載している。
ユニバーサルデザインの視点	・ すべての生徒の色覚特性に適應するようにデザインされており、また見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントが採用されている。

教科名	理科
科目名	地学基礎

発行者（略称）	啓林館
教科書番号	地基061-901◆
教科書名	高等学校 地学基礎 改訂版
(1) 内容	
a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【惑星としての地球】	・地球型惑星の高度分布とプレート運動について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・地球内部の物質の調べ方について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。
【活動する地球】	・大陸移動説からプレートテクトニクスについて、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・町の中で見られる岩石について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・地震の大きさとエネルギーについて、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・古文書から調べる昔の地震について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・日本列島における海溝付近の巨大地震について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・緊急地震速報について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・火山灰の活用について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・柱状節理のでき方について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・黒曜石の使われ方について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・地震波の周期と建物の揺れについて、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・自然災害伝承碑について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。
【大気と海洋】	・オゾン層の生成と輸送について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・熱帯での熱の感じ方について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・水蒸気量と水蒸気圧の関係について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・雲を観察して天気を予想することについて、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・気象衛星の可視画像と赤外画像について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・熱輸送における水蒸気の役割について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・大気の大循環と交通について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・海水に塩類が含まれる理由について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・黒潮と親潮について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・不凍港について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・オゾン層の破壊に関するQ & Aについて、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。
【地球の変遷】	・太陽系以外の惑星系の探査について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・はやぶさ2による小惑星探査について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・太陽系外の惑星と第二の地球について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・チバニアンについて、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・生命の起源について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・原核生物から真核生物について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・全球凍結と生物の進化について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・日本の恐竜について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・第四紀の日本列島について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。
【地球の環境】	・温帯低気圧の発生場所と進路について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・天気図について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・酸素からわかる過去の気温変動について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・地域の気候を生かした食文化について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・日本で起こった巨大噴火について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・線状降水帯について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・突風による災害について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。

b 探究の過程を踏まえた学習の場面	
【惑星としての地球】	・地球の大きさの測定について、その方法を説明するページが設けられている。 ・地球の形と大きさを調査する学習について、その結果を分析し解釈することを促すページが設けられている。 ・地球の形に自転が及ぼす影響の観察について、その方法を説明するページが設けられている。 ・岩石や金属の密度測定から地球内部の密度を考える実習について、その結果を分析し解釈することを促すページが設けられている。
【活動する地球】	・プレートと地球の活動の関係性調査実習について、その方法を説明するページが設けられている。 ・断層をつくるモデル実験について、その方法を説明するページが設けられている。 ・震源を決定する実習について、その方法を説明するページが設けられている。 ・火成岩の組織の観察について、その方法を説明するページが設けられている。 ・火山灰に含まれる鉱物の調査について、その結果を分析し解釈することを促すページが設けられている。 ・鉱物の色指数の求め方について、その方法を説明するページが設けられている。
【大気と海洋】	・高度と気圧・気温の関係性の探求について、その結果を分析し解釈することを促すページが設けられている。 ・成層圏で対流が起こりにくいことを確認する実験について、その方法を説明するページが設けられている。 ・ペットボトルで雲をつくる実験について、その方法を説明するページが設けられている。 ・太陽放射の中の赤外線を確認する実験について、その方法を説明するページが設けられている。 ・緯度による太陽放射エネルギー量の違いを確認する実験について、その方法を説明するページが設けられている。 ・緯度と地球のエネルギー収支の関係性を調査する実習について、その結果を分析し解釈することを促すページが設けられている。 ・地球規模の気温変動について、その結果を分析し解釈することを促すページが設けられている。
【地球の変遷】	・堆積岩の観察について、その方法を説明するページが設けられている。 ・級化構造の再現実験について、その方法を説明するページが設けられている。 ・地層の上下判定について、その方法を説明するページが設けられている。 ・化石の観察について、その方法を説明するページが設けられている。 ・地層の観察について、その結果を分析し解釈することを促すページが設けられている。 ・地質時代の比較について、その方法を説明するページが設けられている。
【地球の環境】	・地球環境の変化と生物の活動の関係性を探究する学習について、その結果を分析し解釈することを促すページが設けられている。 ・地域の災害対策を探究する学習について、その結果を分析し解釈することを促すページが設けられている。
《その他の項目》(各教科共通)	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	・昔の地震を調査するために古文書を読み解く方法を取り上げるなど、我が国の伝統や文化について学習する場面が設定されている。 ・源氏物語に描かれた台風を取り上げるなど、我が国の伝統や文化について学習する場面が設定されている。
人権課題(同和問題、北朝鮮による拉致問題等)に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	・日本列島における海溝付近の巨大地震を取り上げるなど、安全・防災や自然災害について学習する場面が設定されている。 ・緊急地震速報を取り上げるなど、安全・防災や自然災害について学習する場面が設定されている。 ・地震災害を取り上げるなど、安全・防災や自然災害について学習する場面が設定されている。 ・火山災害を取り上げるなど、安全・防災や自然災害について学習する場面が設定されている。 ・気象災害を取り上げるなど、安全・防災や自然災害について学習する場面が設定されている。 ・災害と社会の関係を取り上げるなど、安全・防災や自然災害について学習する場面が設定されている。 ・自然災害伝承碑を取り上げるなど、安全・防災や自然災害について学習する場面が設定されている。 ・地域の災害対策を取り上げるなど、安全・防災や自然災害について学習する場面が設定されている。
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	記載なし
(2) 構成上の工夫	
デジタルコンテンツの扱い	・音声・動画などのデジタルコンテンツを活用して効果的に学習できるようURL及び2次元コードを掲載している。
ユニバーサルデザインの視点	・すべての生徒の色覚特性に適應するようにデザインされており、また見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントが採用されている。

教科名	理科
科目名	地学基礎

発行者（略称）	啓林館
教科書番号	地基703◆
教科書名	高等学校 地学基礎
(1) 内容	
a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【惑星としての地球】	・地球表面の高度分布と比較し、金星と火星の表面の高度分布について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・地球内部の物質の調べ方について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・鉱物と宝石について、自然の事物・現象に関わる場面を設定している。
【活動する地球】	・プレートテクトニクスについて、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・地震の大きさとエネルギーについて、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・古文書を用いた過去の地震調査について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・地震波の周期と建物の揺れについて、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・火山灰の利用について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・柱状節理のでき方について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・地域で見られる岩石について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・緊急地震速報について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。
【大気と海洋】	・水蒸気量と水蒸気圧の関係について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・大気の大循環と交通について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。
【地球の変遷】	・アルマ望遠鏡による原始惑星系円盤の観測について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・太陽系の広がりについて、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・はやぶさ2による小惑星探査について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・熱水噴出孔と有機物の合成について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・原核生物から真核生物への進化について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・酸素の増加と生物の大型化について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・全球凍結と生物の進化について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・チバニアンについて、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。
【地球の環境】	・日本近海の流れについて、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・温帯低気圧の発生場所と進路について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・酸素からわかる過去の気温変動について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・地域の気候を生かした食文化について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・集中豪雨のメカニズムについて、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・雨の強さと降り方について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・気象予報の高精度化について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・持続可能な開発目標について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。

b 探究の過程を踏まえた学習の場面		
【惑星としての地球】	・地球の形と大きさの測定について、その方法を説明するページが設けられている。 ・地球の形と自転の関係を確認する実験について、その結果を分析し解釈することを促すページが設けられている。 ・岩石や金属の密度を測定して地球の層構造を探究する学習について、その結果を分析し解釈することを促すページが設けられている。 ・級化構造の再現実験について、その方法を説明するページが設けられている。 ・堆積岩の観察について、その方法を説明するページが設けられている。 ・地層の観察について、その結果を分析し解釈することを促すページが設けられている。	
【活動する地球】	・プレートと地球の活動の関係性調査実習について、その方法を説明するページが設けられている。 ・震源を決定する実習について、その方法を説明するページが設けられている。 ・火成岩の組織の観察について、その方法を説明するページが設けられている。	
【大気と海洋】	・高度と気圧・気温の関係性の探求について、その結果を分析し解釈することを促すページが設けられている。 ・対流の起こりやすさについて、その方法を説明するページが設けられている。 ・ペットボトルで雲をつくる実験について、その方法を説明するページが設けられている。 ・太陽放射の中の赤外線を確認する実験について、その方法を説明するページが設けられている。 ・地球が受ける太陽放射エネルギー量の緯度による違いを確認する実験について、その方法を説明するページが設けられている。 ・緯度と地球のエネルギー収支の関係性を調査する実習について、その結果を分析し解釈することを促すページが設けられている。 ・水の下運動の観察について、その方法を説明するページが設けられている。	
【地球の変遷】	・化石の観察について、その方法を説明するページが設けられている。 ・地質時代の比較について、その方法を説明するページが設けられている。	
【地球の環境】	・高気圧と低気圧の移動速度について、その方法を説明するページが設けられている。 ・地球環境の変化と生物の活動の関係性を探究する学習について、その結果を分析し解釈することを促すページが設けられている。 ・地域の災害対策を探究する学習について、その結果を分析し解釈することを促すページが設けられている。 ・地球規模の気候変動を探究する学習について、その結果を分析し解釈することを促すページが設けられている。	
《その他の項目》(各教科共通)		
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	・古文書を用いた過去の地震調査を取り上げるなど、我が国の伝統や文化について学習する場面が設定されている。 ・源氏物語に描かれた台風を取り上げるなど、我が国の伝統や文化について学習する場面が設定されている。	
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし	
安全・防災や自然災害の扱い	・地震波の周期と建物の揺れを取り上げるなど、安全・防災や自然災害について学習する場面が設定されている。 ・地震災害を取り上げるなど、安全・防災や自然災害について学習する場面が設定されている。 ・火山災害を取り上げるなど、安全・防災や自然災害について学習する場面が設定されている。 ・気象災害を取り上げるなど、安全・防災や自然災害について学習する場面が設定されている。 ・災害と社会の関係を取り上げるなど、安全・防災や自然災害について学習する場面が設定されている。 ・地域的な環境の変化を取り上げるなど、安全・防災や自然災害について学習する場面が設定されている。	
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし	
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	記載なし	
(2) 構成上の工夫		
デジタルコンテンツの扱い	・音声・動画などのデジタルコンテンツを活用して効果的に学習できるようURL及び2次元コードを掲載している。	
ユニバーサルデザインの視点	・すべての生徒の色覚特性に適応するようにデザインされており、また見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントが採用されている。	

教科名	理科
科目名	地学基礎

発行者（略称）	数研
教科書番号	地基104-901◆
教科書名	改訂版 高等学校 地学基礎
(1) 内容	
a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【惑星としての地球】	・古地図に見る地球の形について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・金星と火星の表面について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。
【活動する地球】	・プレートテクトニクスについて、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・緊急地震速報について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・プレート間地震と地殻変動について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・過去の地震の調べ方について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・ハザードマップについて、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・伊豆・小笠原諸島の活発な火山活動について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・火山ガラスについて、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・火山灰から過去の噴火の様子を識別することについて、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・宝石について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・黒曜石について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・過去の噴火について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。
【大気と海洋】	・気圧と密度の高度による変化について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・いろいろな高気圧について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・気象衛星画像について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・フェーン現象について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・水害を防ぐダム機能について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・塩類の起源と海洋の観測について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。
【地球の変遷】	・粒径・流速と侵食・運搬・堆積の関係について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・石材について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・岩石サイクルについて、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・堆積環境と堆積環境について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・微化石について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・大量絶滅について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・生命の誕生について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・縞状鉄鉱層について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・植物の陸上進出について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・ペルム紀末の大量絶滅について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・石油の形成について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・白亜紀末の大量絶滅について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・木星・土星の特徴的な衛星について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・冥王星と太陽系の惑星の定義について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・彗星の起源について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・ジャイアントインパクトについて、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・系外惑星について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・はやぶさ2について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。
【地球の環境】	・日本列島周辺の海底で生じる鉱物資源について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・日本付近の海流について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・ヒートアイランド現象について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・極成層圏雲について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・アラル海について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・土砂災害の原因について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・SDGsについて、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。

b 探究の過程を踏まえた学習の場面		
【惑星としての地球】	・地球の大きさを求める実習について、その結果を分析し解釈することを促すページが設けられている。 ・地球の形を考える実習について、その結果を分析し解釈することを促すページが設けられている。 ・地球の層構造を模式図で表す実習について、その方法を説明するページが設けられている。 ・地球内部の層構造の形成過程を見いだす実験について、その結果を分析し解釈することを促すページが設けられている。 ・堆積による地層形成のモデル実験について、その結果を分析し解釈することを促すページが設けられている。 ・地層の観察について、その結果を分析し解釈することを促すページが設けられている。	
【活動する地球】	・地球表面の地形と地震・火山の分布の規則性を見いだす実習について、その結果を分析し解釈することを促すページが設けられている。 ・プレート移動速度を求める実習について、その結果を分析し解釈することを促すページが設けられている。 ・断層の形成実験について、その結果を分析し解釈することを促すページが設けられている。 ・震源の位置を求める実習について、その方法を説明するページが設けられている。 ・液化現象について、その結果を分析し解釈することを促すページが設けられている。 ・マグマの発砲を再現する実験について、その方法を説明するページが設けられている。 ・火山灰中の鉱物観察について、その結果を分析し解釈することを促すページが設けられている。 ・深成岩の色指数を求める実習について、その方法を説明するページが設けられている。	
【大気と海洋】	・気圧と気温の高度による変化について、その結果を分析し解釈することを促すページが設けられている。 ・断熱膨張のモデル実験について、その結果を分析し解釈することを促すページが設けられている。 ・日射量の測定について、その結果を分析し解釈することを促すページが設けられている。 ・緯度ごとのエネルギー収支を探究する実習について、その結果を分析し解釈することを促すページが設けられている。 ・大気の大循環と地上気圧の関連性を思考する実習について、その方法を説明するページが設けられている。 ・海水の沈み込みモデル実験について、その結果を分析し解釈することを促すページが設けられている。	
【地球の変遷】	・フズリナ化石の観察について、その方法を説明するページが設けられている。 ・地球環境の変化と鉄鉱床の形成との関連性を思考する実習について、その方法を説明するページが設けられている。 ・アンモナイト類の特徴を調べる実習について、その結果を分析し解釈することを促すページが設けられている。 ・太陽系の惑星の比較について、その結果を分析し解釈することを促すページが設けられている。	
【地球の環境】	・北極圏の海氷面積の変化を考察する実習について、その結果を分析し解釈することを促すページが設けられている。	
《その他の項目》（各教科共通）		
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	・古文書を用いて過去の噴火の様子を調査することを取り上げるなど、我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解について学習する場面が設定されている。 ・季節に関する和歌を取り上げるなど、我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解について学習する場面が設定されている。	
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし	
安全・防災や自然災害の扱い	・地震の分布と地震災害を取り上げるなど、安全・防災や自然災害について学習する場面が設定されている。 ・火山活動を取り上げるなど、安全・防災や自然災害について学習する場面が設定されている。 ・火山の恵みと災害を取り上げるなど、安全・防災や自然災害について学習する場面が設定されている。 ・日本の天気と気象災害を取り上げるなど、安全・防災や自然災害について学習する場面が設定されている。 ・水害を防ぐダム機能を取り上げるなど、安全・防災や自然災害について学習する場面が設定されている。 ・日本の自然環境を取り上げるなど、安全・防災や自然災害について学習する場面が設定されている。 ・自然災害に対する備えや対応を取り上げるなど、安全・防災や自然災害について学習する場面が設定されている。	
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし	
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	記載なし	
(2) 構成上の工夫		
デジタルコンテンツの扱い	・音声・動画などのデジタルコンテンツを活用して効果的に学習できるようURL及び2次元コードを掲載している。	
ユニバーサルデザインの視点	・すべての生徒の色覚特性に適應するようにデザインされており、また見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントが採用されている。	

教科名	理科
科目名	地学基礎

発行者（略称）	第一
教科書番号	地基183-901◆
教科書名	高等学校 改訂 地学基礎
(1) 内容	
a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【惑星としての地球】	・地球内部の探査について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。
【活動する地球】	・VLBIについて、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・マグニチュードについて、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・巨大カルデラ噴火について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・地震動の伝わり方について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・地震動を受け流す建築構造について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。
【大気と海洋】	・夜の雲について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・偏西風について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・海洋調査について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・海流について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・オゾンホールについて、自然の事物・現象に関わる場面を設定している。
【地球の変遷】	・ガリレオの天体観測について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・流星について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・系外惑星について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・地球型惑星の大気組成について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・全球凍結について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・メタセコイアについて、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・チバニアンについて、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。
【地球の環境】	・ジオパークについて、自然の事物・現象に関わる場面を設定している。 ・雷について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。
b 探究の過程を踏まえた学習の場面	
【惑星としての地球】	・地球の大きさ測定について、その結果を分析し解釈することを促すページが設けられている。 ・地球の形を推定する学習について、その結果を分析し解釈することを促すページが設けられている。 ・岩石と鉄の密度の比較について、その結果を分析し解釈することを促すページが設けられている。
【活動する地球】	・岩石が受ける力について、その方法を説明するページが設けられている。 ・地震とプレートの関係について、その結果を分析し解釈することを促すページが設けられている。 ・火山灰の観察について、その方法を説明するページが設けられている。 ・火成岩の観察について、その方法を説明するページが設けられている。 ・身近な地域で起こる地震について、その結果を分析し解釈することを促すページが設けられている。 ・火山の配列からプレートの動きを考察する学習について、その結果を分析し解釈することを促すページが設けられている。
【大気と海洋】	・大気の高さと気温の変化を比較する実習について、その結果を分析し解釈することを促すページが設けられている。 ・緯度ごとのエネルギー収支を考察する実習について、その結果を分析し解釈することを促すページが設けられている。 ・海水が沈み込む様子を再現する実験について、その方法を説明するページが設けられている。 ・太陽放射エネルギーの測定について、その結果を分析し解釈することを促すページが設けられている。
【地球の変遷】	・星団の観察について、その方法を説明するページが設けられている。 ・太陽の黒点観察について、その結果を分析し解釈することを促すページが設けられている。 ・木星の衛星の観察について、その方法を説明するページが設けられている。 ・ハビタブルゾーンにある系外惑星調査について、その結果を分析し解釈することを促すページが設けられている。 ・堆積岩の調査について、その結果を分析し解釈することを促すページが設けられている。 ・地質時代の区分について、その結果を分析し解釈することを促すページが設けられている。 ・地質時代カレンダー作成について、その結果を分析し解釈することを促すページが設けられている。 ・露頭観察について、その結果を分析し解釈することを促すページが設けられている。
【地球の環境】	・平均気温の変化調査について、その結果を分析し解釈することを促すページが設けられている。 ・気象災害の予測について、その方法を説明するページが設けられている。 ・気温の変化調査について、その結果を分析し解釈することを促すページが設けられている。

《その他の項目》（各教科共通）	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	記載なし
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	・日本の自然環境を取り上げるなど、安全・防災や自然災害について学習する場面が設定されている。 ・地震災害を取り上げるなど、安全・防災や自然災害について学習する場面が設定されている。 ・火山災害と防災を取り上げるなど、安全・防災や自然災害について学習する場面が設定されている。 ・自然災害への対策を取り上げるなど、安全・防災や自然災害について学習する場面が設定されている。 ・気象庁震度階級を取り上げるなど、安全・防災や自然災害について学習する場面が設定されている。
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	記載なし
(2) 構成上の工夫	
デジタルコンテンツの扱い	・音声・動画などのデジタルコンテンツを活用して効果的に学習できるようURL及び2次元コードを掲載している。
ユニバーサルデザインの視点	・すべての生徒の色覚特性に適應するようにデザインされており、また見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントが採用されている。

教科名	理科
科目名	地学基礎

発行者（略称）	第一
教科書番号	地基705
教科書名	高等学校 地学基礎
(1) 内容	
a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【惑星としての地球】	・地球内部の探査について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。
【活動する地球】	・マグニチュードについて、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・巨大カルデラ噴火について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・ガリレオの天体観測について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・地震動の伝わり方について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・地震動を受け流す建築構造について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。
【大気と海洋】	・夜の雲について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・南極で吹く風について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・海洋調査について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・海流について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・オゾンホールについて、自然の事物・現象に関わる場面を設定している。
【地球の変遷】	・流星について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・系外惑星について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・地球型惑星の大気組成について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・メタセコイアについて、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。 ・チバニアンについて、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。
【地球の環境】	・雷について、「理科の見方・考え方」を使う場面を設定している。
b 探究の過程を踏まえた学習の場面	
【惑星としての地球】	・地球の大きさ測定について、その結果を分析し解釈することを促すページが設けられている。 ・岩石と鉄の密度の比較について、その結果を分析し解釈することを促すページが設けられている。
【活動する地球】	・岩石が受ける力について、その結果を分析し解釈することを促すページが設けられている。 ・世界の海溝の分布とその特徴を見いだす実習について、その結果を分析し解釈することを促すページが設けられている。 ・火山灰の観察について、その方法を説明するページが設けられている。 ・火成岩の組織の観察について、その方法を説明するページが設けられている。 ・火成岩の観察について、その方法を説明するページが設けられている。 ・身近な地域で起こる地震について、その結果を分析し解釈することを促すページが設けられている。 ・火山の配列からプレートの動きを考察する学習について、その結果を分析し解釈することを促すページが設けられている。 ・液化現象について、科学的な概念を使用して考えたり説明したりすることを促すページが設けられている。
【大気と海洋】	・緯度ごとのエネルギー収支を考察する実習について、その結果を分析し解釈することを促すページが設けられている。 ・海氷の形成と塩分の変化について、その結果を分析し解釈することを促すページが設けられている。 ・太陽放射エネルギーの測定について、その結果を分析し解釈することを促すページが設けられている。
【地球の変遷】	・太陽の黒点観察について、その結果を分析し解釈することを促すページが設けられている。 ・木星の衛星の観察について、その方法を説明するページが設けられている。 ・ハビタブルゾーンにある系外惑星に生命や液体の水が存在するかを探究する課題について、その結果を分析し解釈することを促すページが設けられている。 ・堆積岩の調査について、その結果を分析し解釈することを促すページが設けられている。 ・地質時代の区分について、その結果を分析し解釈することを促すページが設けられている。 ・地質時代カレンダー作成について、その結果を分析し解釈することを促すページが設けられている。 ・露頭観察について、その結果を分析し解釈することを促すページが設けられている。
【地球の環境】	・気温の変化調査について、科学的な概念を使用して考えたり説明したりすることを促すページが設けられている。

《その他の項目》（各教科共通）	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	記載なし
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	・身近な地域で起こる地震を取り上げるなど、安全・防災や自然災害について学習する場面が設定されている。 ・日本の自然環境を取り上げるなど、安全・防災や自然災害について学習する場面が設定されている。 ・地震災害を取り上げるなど、安全・防災や自然災害について学習する場面が設定されている。 ・火山災害と防災を取り上げるなど、安全・防災や自然災害について学習する場面が設定されている。 ・自然災害への対策を取り上げるなど、安全・防災や自然災害について学習する場面が設定されている。 ・気象庁震度階級を取り上げるなど、安全・防災や自然災害について学習する場面が設定されている。
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	記載なし
(2) 構成上の工夫	
デジタルコンテンツの扱い	・音声・動画などのデジタルコンテンツを活用して効果的に学習できるようURL及び2次元コードを掲載している。
ユニバーサルデザインの視点	・すべての生徒の色覚特性に適應するようにデザインされており、また見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントが採用されている。